

2. 「協働的な学び」の充実を目指した取組事例

事例4 自学・自習

○教科名 社会

○单元名 6年「世界に歩み出した日本」

○身に付けさせたい力

仲間と協働的に調べ学習を行い、課題解決する力

○協働的な学びへ向けた工夫

・子供達が協働して学習を進めやすいよう、学習の基本的な流れはいつも同じにしている。

- (1) 本時の課題を全員で確認する
- (2) 課題を解決するために調べることを考える
- (3) 調べる（役割分担する、同じ内容を違う媒体で調べる等）
- (4) 分かったことを黒板にまとめていく
- (5) 課題に正対したまとめを考える
- (6) 本時の学習をふり返る



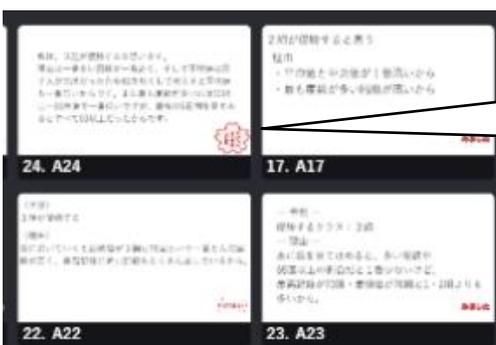
事例5 ミライシード「オクリンク」「ムーブノート」の活用

○取組場面 情報共有・意見交換

○対象 全学年

○協働的な学びへ向けた工夫

- ・児童はお互いの書いたもの、作ったものを自由に見ながら、参考にしていく。
- ・一覧で見る、いくつかの考えを比較する等、学習場面に合わせた使い方をする。
- ・それぞれの進度を可視化することで、助け合いや学び合いを行う。
- ・コメント機能を使って意見交換をする。



教師からの評価を見て、参考にするものを選ぶこともできる

初発の感想をスプレッドシートに同時入力し、共有した場面



3. 成果と課題

◎様々な学習の仕方を模索し、新たな学びのスタイルを見つけることができた。

◎教師が予想していた以上に子供達は主体的に学習を進めることができた。

△各学年の発達段階に応じた「学び方の系統性」を学校全体で確認する必要がある。

△一斉授業以上に事前準備や個々の見取りが大切。学習カード等を新たに作成しなくてもよいようにデータを共有していく。